

2021年3月期 決算説明資料



関東電化工業株式会社

(東証1部 4047)

2021年5月21日

説明内容

1. 2021年3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学品 事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学品 事業	フッ素系製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲストン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、五フッ化ヨウ素、六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化グループ（連結子会社）

(単位：百万円)

	資本金	出資 比率%	2021/3期 売上高	対前期比	主要な事業内容
関電興産（株）	10	100.0	6,562	△584	化学工業薬品の販売および容器整備、 保険代理店
（株）上備製作所	120	49.4	3,993	△1,701	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業（株）	27	99.3	712	△35	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA（株）	3億ウォン	90.0	13,493	2,451	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份有限 公司	7百万NTドル	100.0	4,176	△695	フッ素系製品の販売
関東電化ファインプロダク ツ韓国（株）	215億ウォン	100.0	1,190	1,172	フッ素系製品の製造・販売
宣城科地克科技有限公 司	2,690万ドル	96.8	—	—	フッ素系製品の製造・販売
		合計	30,129	607	

連結決算のポイント (P/L)

(単位：億円)

	2020/3	2021/3	差額
売上高	536	519	△17
営業利益	77	56	△20
純利益※	50	36	△14

※親会社株主に帰属する当期純利益

【売上高】 (△17億円)

- ・基礎化学品事業は、販売数量の減少と販売価格の低下により減収 (△8.7億円)
- ・精密化学品事業は、販売価格は低下したものの、販売数量の増加により増収 (+3.8億円)
- ・鉄系事業 (△5.6億円)、商事事業 (△0.0億円)、設備事業 (△6.7億円)

【営業利益】 (△20億円)

基礎化学品事業 (△3.7億円)、精密化学品事業 (△14.7億円)
鉄系事業 (△1.9億円)、商事事業 (+0.1億円)、設備事業 (△3.0億円)、連結消去 (+2.6億円)

業績予想との差異

(単位：億円)

	11/13予想	2/12予想	2021/3実績
売上高	500	510	519
営業利益	35	51	56
純利益※	20	30	36

※親会社株主に帰属する当期純利益

【売上高】

・主に電池材料の需要回復速度が、想定を上回り増収

【営業利益】

・増収効果に加え、製造固定費の減少、棚卸資産評価損の減少などの要因で増益

基礎化学品事業部門

(単位：億円)

	2020/3	2021/3	差額
売上高	66	57	△8
営業利益	1.2	△2.4	△3.7

【売上高】

- ・か性ソーダ・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収
- ・塩酸・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収
- ・トリクロールエチレン・・・販売数量の減少と販売先の構成差により減収
- ・パークロールエチレン・・・販売数量は増加したものの販売先の構成差により減収

【営業利益】

- ・主要製品の減収により減益

精密化学品事業部門

(単位：億円)

	2020/3	2021/3	差額
売上高	399	403	3
営業利益	68	53	△14

【売上高】

- ・三フッ化窒素・・・販売数量は増加したものの、販売価格の低下により減収
- ・六フッ化タングステン・・・販売価格は低下したものの、販売数量の増加により増収
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン・・・販売数量の増加により増収
- ・六フッ化リン酸リチウム・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収

【営業利益】

- ・一部製品の販売価格低下と、製造固定費の増加により減益

鉄系・商事・設備事業部門

(単位：億円)

	2020/3	2021/3	差額
売上高	70	58	△12
営業利益	7	5	△2

【鉄系事業】

キャリアーおよび鉄酸化物の販売減少により減収

【商事事業】

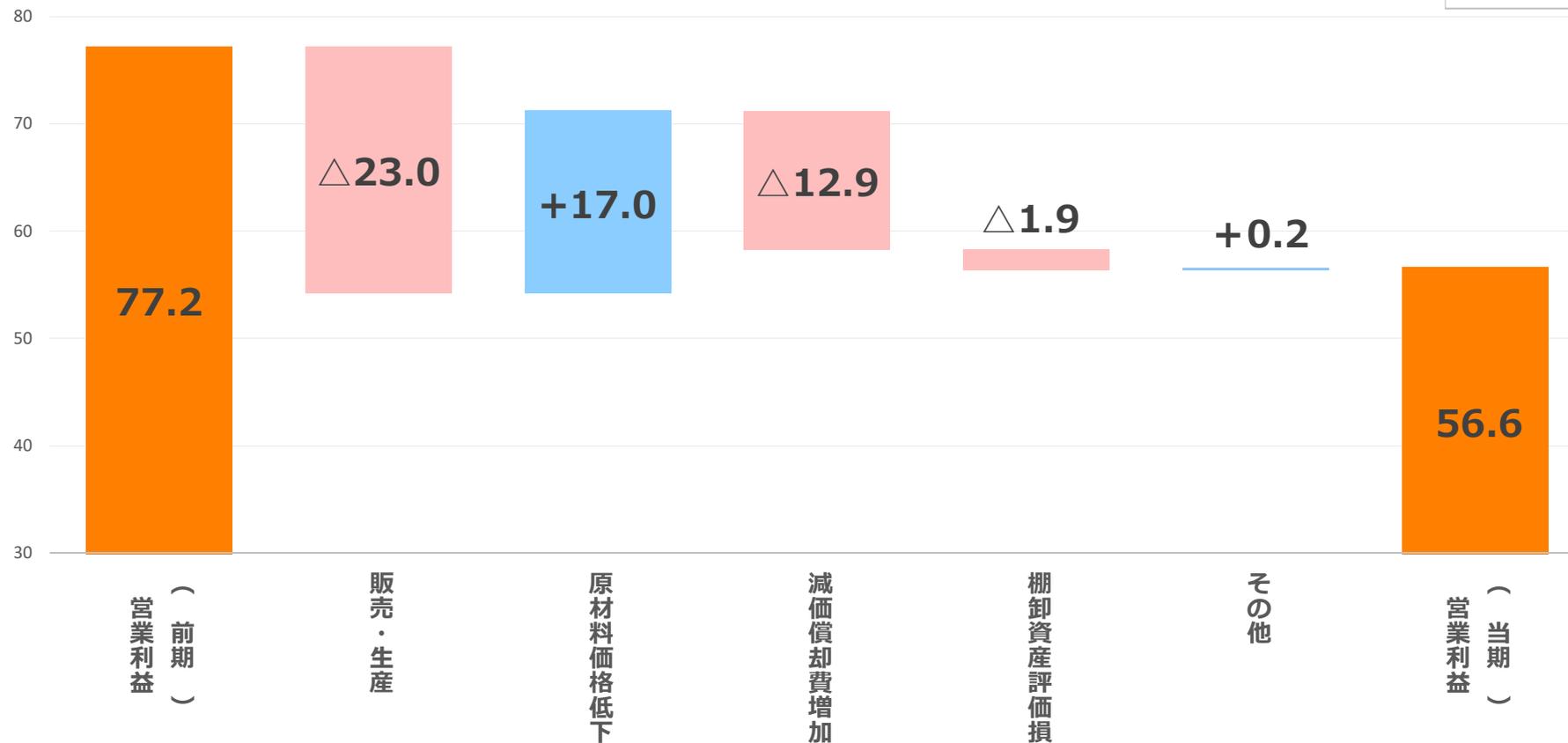
連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売減少により減収

【設備事業】

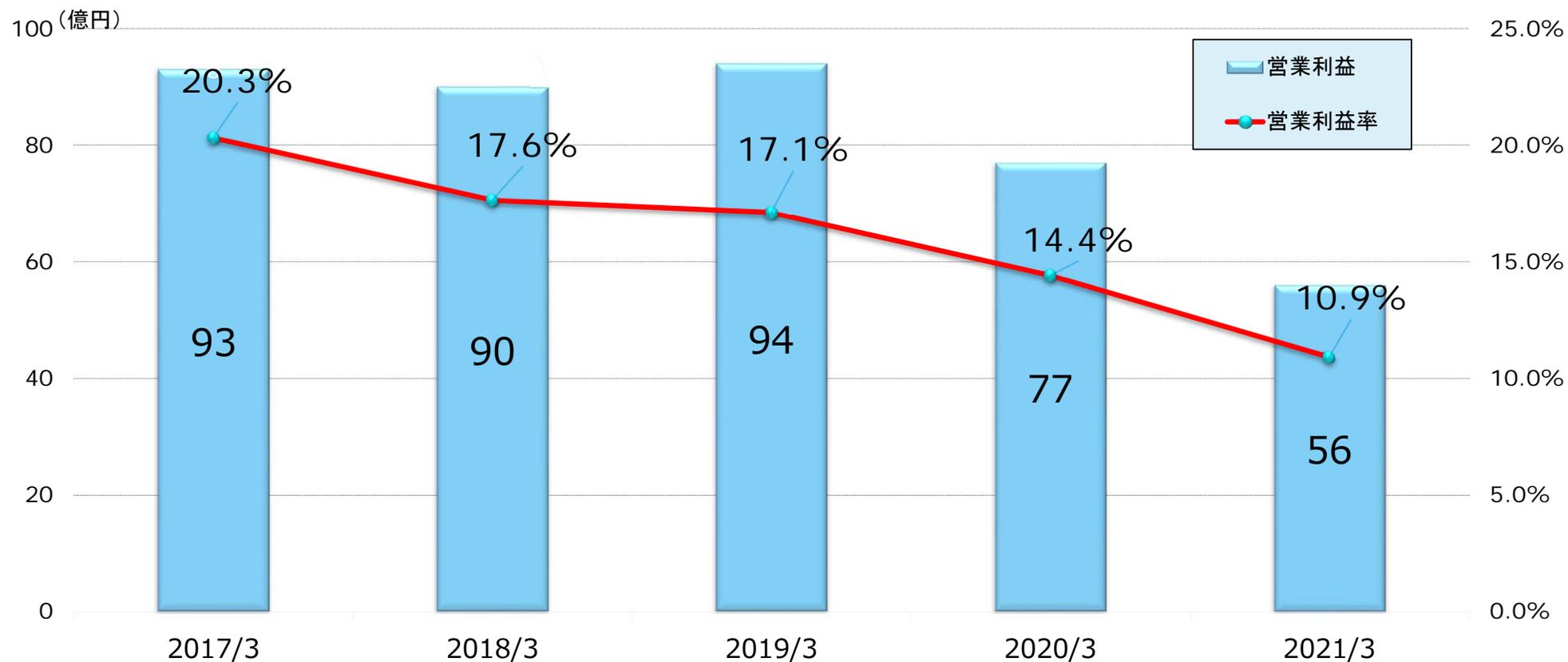
連結子会社である上備製作所の請負工事減少により減収

連結営業利益差異分析(2020/3 対 2021/3)

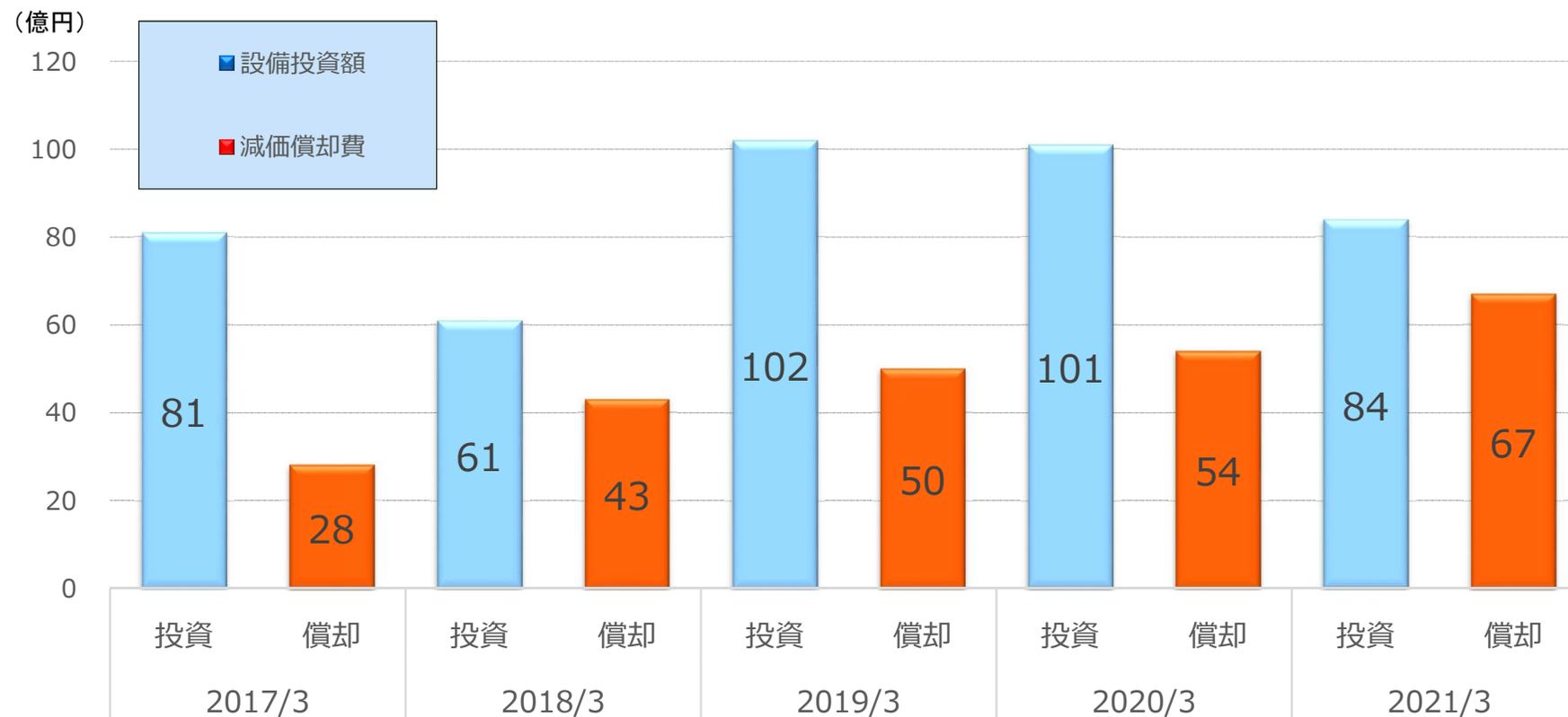
(単位：億円)



営業利益と営業利益率の推移（連結）



設備投資・減価償却費の推移（連結）



貸借対照表（連結）

(単位：億円)

	2020/3	2021/3	増減
資産	840	923	82
現金及び預金	166	236	70
営業債権	151	148	△3
棚卸資産	118	105	△12
固定資産	305	321	15
負債	368	399	30
有利子負債	216	269	53
営業債務	67	66	△1
未払法人税等	8	5	△3
純資産	472	524	52
（自己資本比率）	（54.8%）	（55.2%）	（0.4%）

説明内容

1. 2021年3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

セグメント別業績予想（連結）

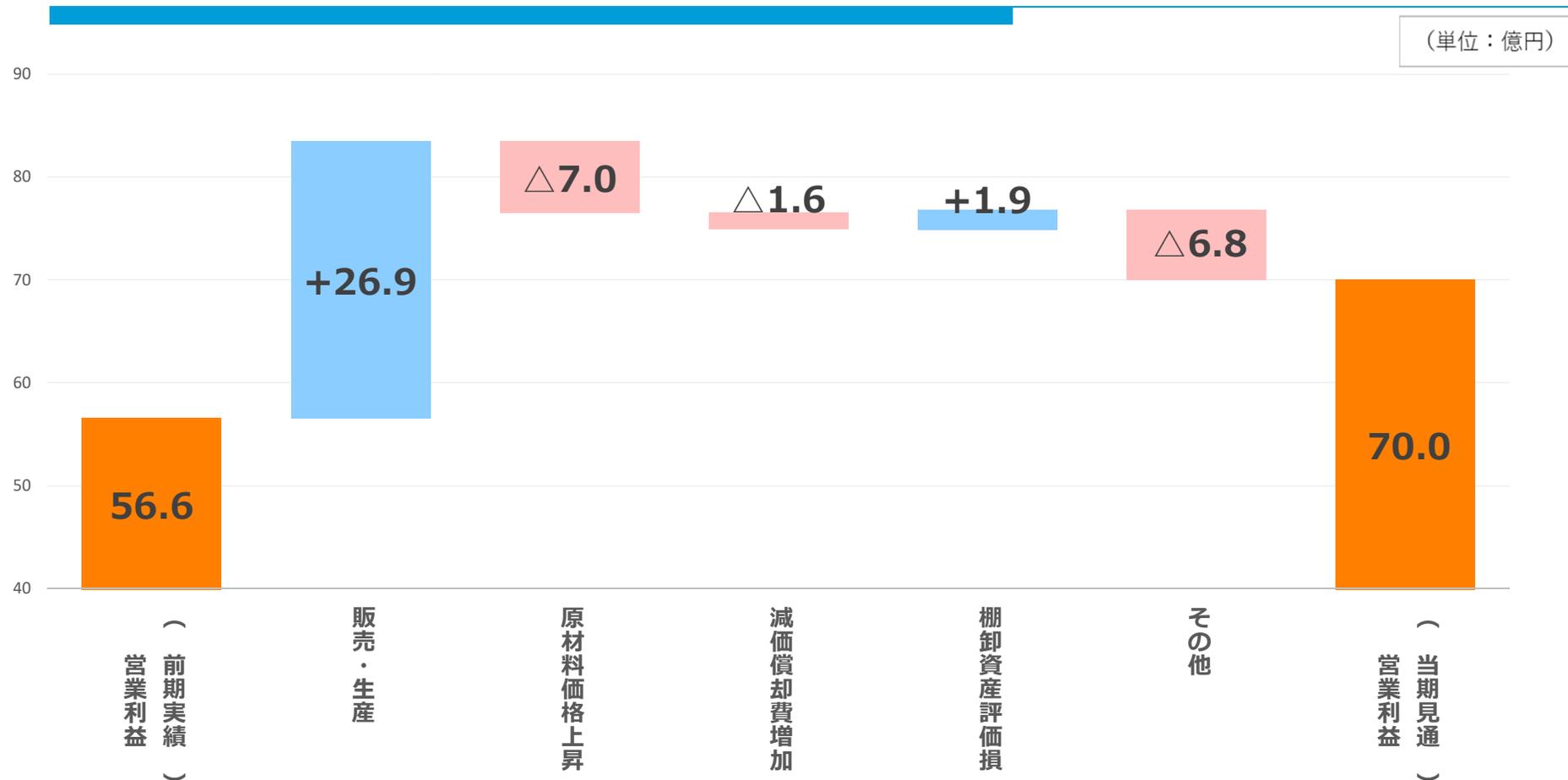
（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2021/3 実績	2022/3 見込	差額	2021/3 実績	2022/3 見込	差額
基礎	57	59	1	△2	△2	0
精密	403	451	47	53	69	15
その他※	58	59	0	5	3	△2
合計	519	569	49	56	70	13
設備投資費	84	137	53			
減価償却費	67	69	1			
研究開発費	14	17	2			

【業績予想前提】
為替レート：103円/\$

※その他には、鉄系事業、商事事業、
設備事業および連結調整を含みます。

連結営業利益差異分析(2021/3 対 2022/3見込)



セグメント別業績予想（連結） 上期下期比較

（単位：億円）

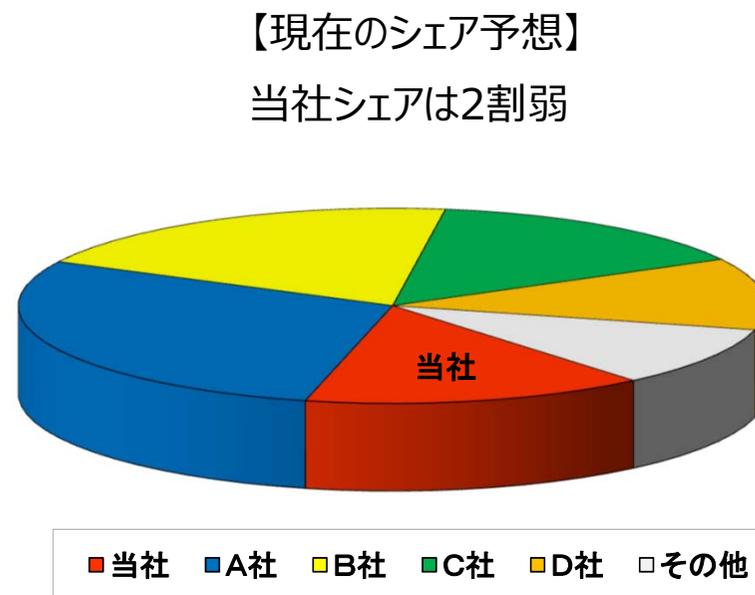
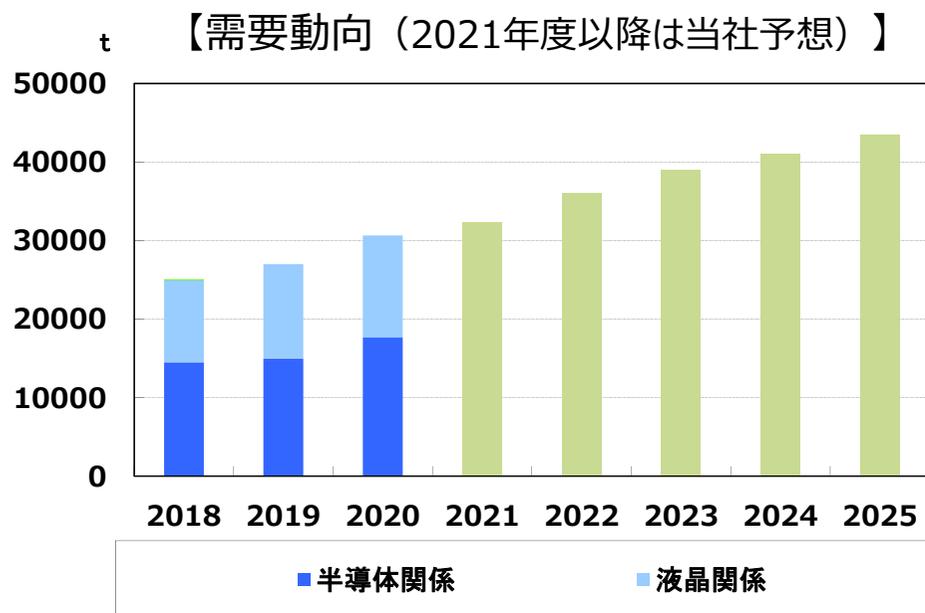
	2022/3 売上高			2022/3 営業利益		
	上期見込	下期見込	差額	上期見込	下期見込	差額
基礎	29	30	1	△1	△1	0
精密	207	244	37	30	39	9
その他※	30	29	△1	1	2	1
合計	266	303	37	30	40	10

設備投資費	59	78	18
減価償却費	32	36	3
研究開発費	8	8	0

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

– 主な製品の見通し – 三フッ化窒素 (NF₃)

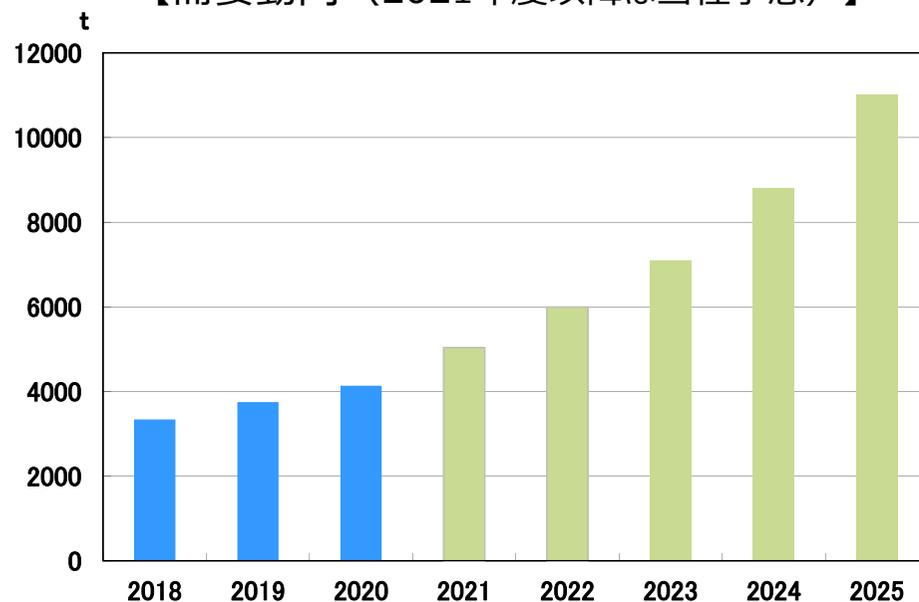
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス
- 製造能力 3,700t/年



–主な製品の見通し– 六フッ化タンゲステン(WF₆)

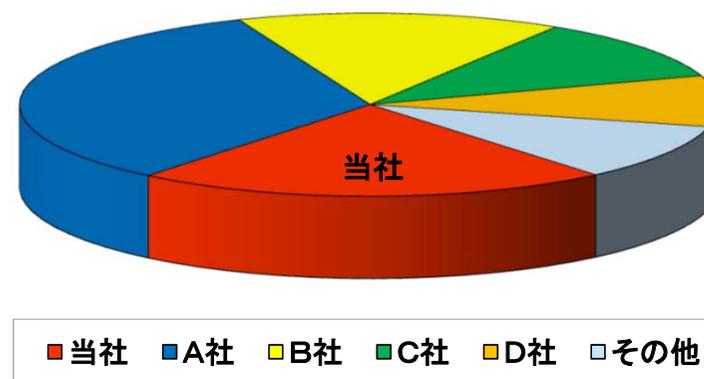
- 半導体用配線材料ガス。
- 製造能力720t/年（2016.11） ➡ 910t/年（2018.8） ➡ 1,400t/年（2019.10）

【需要動向（2021年度以降は当社予想）】



【現在のシェア予想】

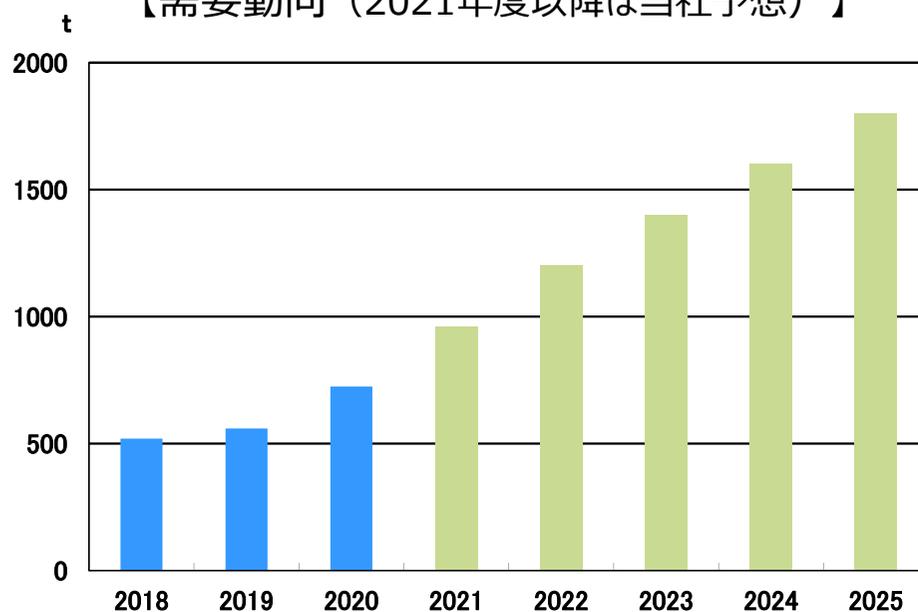
当社シェアは3割弱



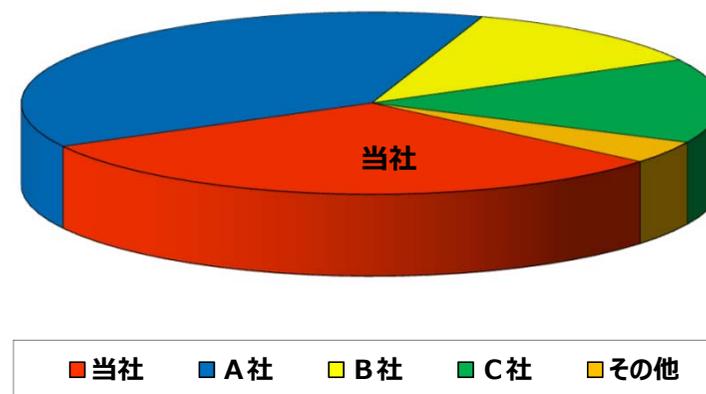
- 主な製品の見通し - ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C₄F₆)

- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 125t/年 ➡ 160t/年 (2018.12) ➡ 260t/年 (2019.12) ➡ 400t/年(2022.8予定)

【需要動向 (2021年度以降は当社予想)】

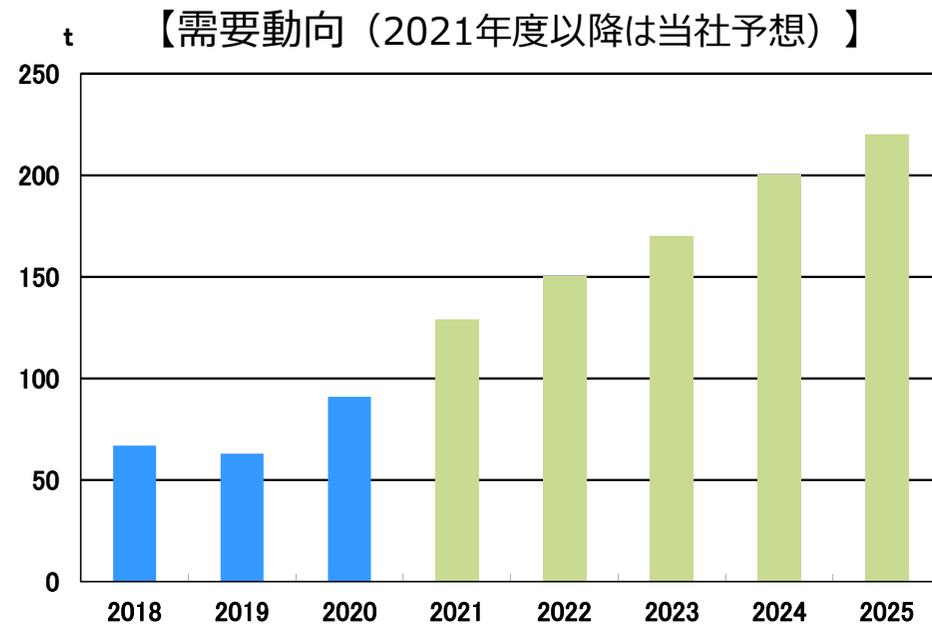


【現在のシェア予想】
当社シェアは約 3 割

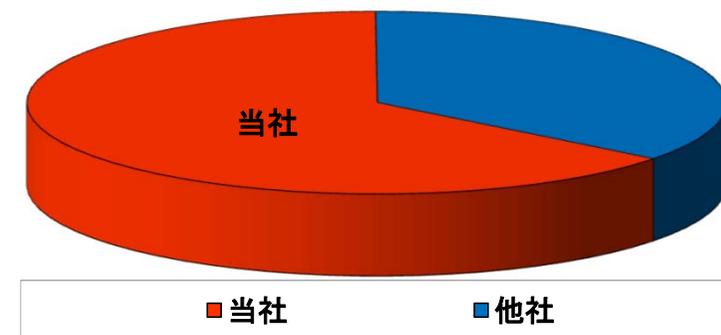


– 主な製品の見通し – 硫化カルボニル(COS)

- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 40t/年 ➡ 80t/年 (2019.10)



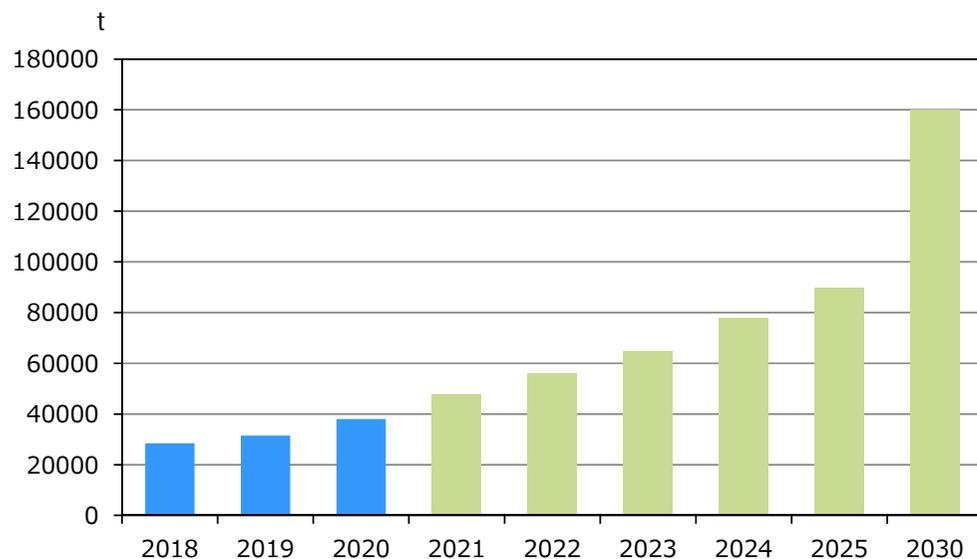
【現在のシェア予想】
当社シェアは6割以上



– 主な製品の見通し – 六フッ化リン酸リチウム (LiPF₆)

- リチウムイオン二次電池の材料である電解質
- E V等の車載向け需要が本格化
- 現在の製造能力は5,400 t /年

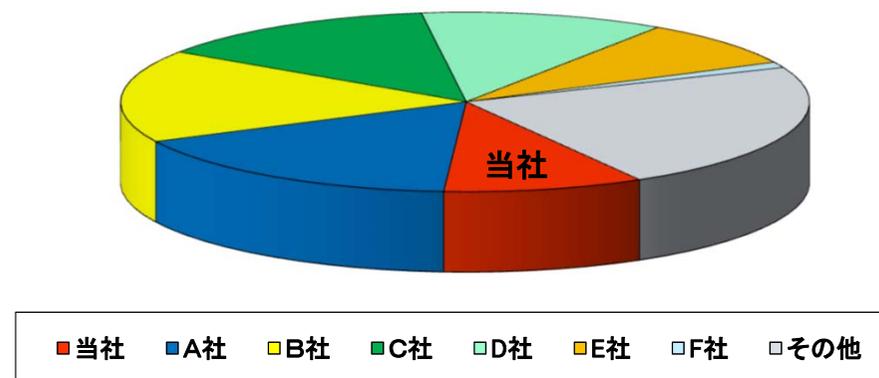
【需要動向（2021年度以降は当社予想）】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約 1 割

車載用電池
電池特性、安全性等の要求が強い
高品質のLiPF₆が必須となる



– 海外生産拠点について – 関東電化ファインプロダクツ韓国(株)

□ 所在地

大韓民国忠清南道天安市

□ 事業内容

半導体・液晶用特殊ガス類の製造・販売

□ 生産品目

- ・硫化カルボニル(COS)
- ・四フッ化炭素(CF₄)
- ・三フッ化塩素(CIF₃) * : (2021年稼働予定)



– 海外生産拠点について – 宣城科地克科技有限公司

□ 所在地

中華人民共和国安徽省宣城市

□ 事業内容

半導体・液晶用特殊ガス類の製造・販売

□ 生産品目

I 期工事* : フッ化アンモニウム

II 期工事 (計画中)

- ・六フッ化タンゲステン(WF₆)
- ・四フッ化炭素(CF₄)
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C₄F₆)

* : 2022年稼働開始予定



カーボンニュートラルに向けた取り組み

2030年
にむけた
ビジョン

精密化学品事業の拡大と新事業創出による成長基盤を強化するとともに
温室効果ガス排出の削減を実行し社会に貢献する「創造的開発型企业」

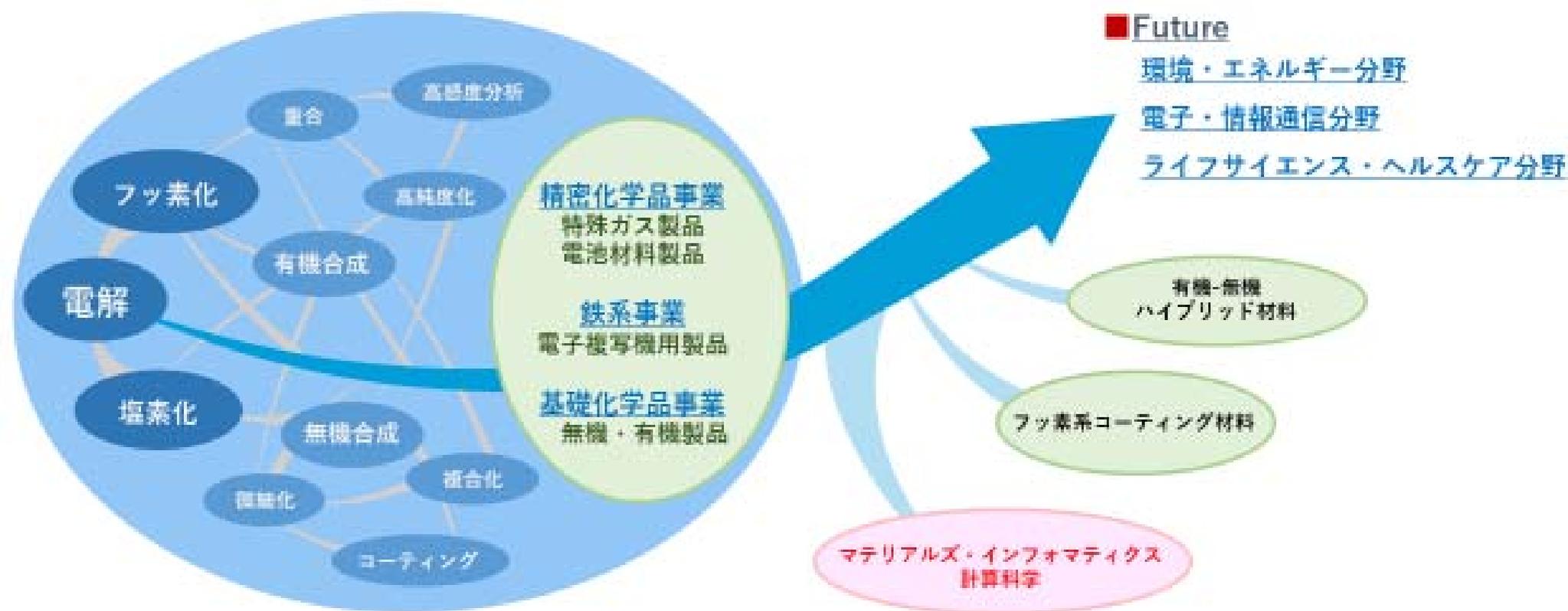
【主な取り組み方針】

- ① 既存製品の成長を果たしながら、CO₂排出原単位の改善を目指す
- ② プロダクトミックスによるCO₂排出の管理により、CO₂排出量削減を目指す
- ③ 再生可能エネルギーの利用とCO₂排出原単位の改善による削減を目指す



2021年度中に温室効果ガス排出削減のロードマップを策定する予定

当社技術と事業方向性



注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。